

聊齋志異 粉蝶



陽生上船，忽起南風，不久離岸甚遠，船上備有幾塊胡餅，吃一塊便不覺饑餓。黃昏時，已抵瓊州，陽解下裙子，包好胡餅，返回家中。

圖片有一首「粉蝶」詩：「天風吹送上仙山，學得瑤琴一曲還，蝶自戀花花引蝶，雙飛雙宿到人間。」

陽生が船に乗ると、突然南風が吹き始め、まもなく岸から遠く離れてしまった。船には何枚かの胡餅（中国風のパン）が備えられており、1枚食べると空腹を感じなくなった。夕方には瓊州（現在の海南島）に到着し、陽生は上着を脱いで胡餅を包み、家に戻った。

画像には「粉蝶」という詩がある。「天の風に吹かれて仙山に登り、瑤琴（美しい琴）の曲を一つ学んで帰ってきた。蝶は自ら花を恋い慕い、花は蝶を誘う。二羽でつがいとなって人間界にたどり着いた。」